

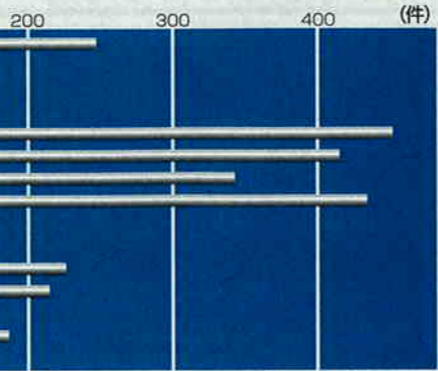
家庭と地域一体の子育て支援計画の策定

狭山市児童育成計画の策定についての意識調査結果

市では、児童育成計画を策定するにあたり、保育所などの利用状況や子どものおかれている状況、今後の保育サービスなどへの要望を把握するため、平成8年度に2千世帯を対象にアンケート調査を実施しました。今回は、アンケート調査のうち、就学前(0歳児から5歳児まで)の児童の保育状況について概略をお知らせします。調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

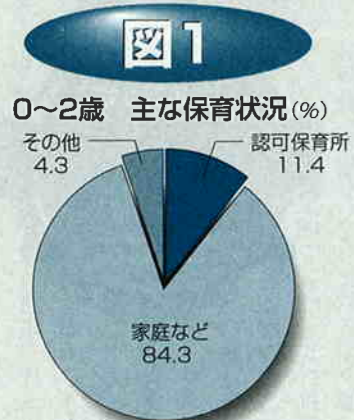
なお、児童育成計画については、誰もが安心して子どもを生み、育てられる環境づくりおよび全ての子どもたちが生き生きと生活が送れる環境づくりを社会全体で進めていくために策定するもので、市民のかたがたのご意見などをお伺していきたいと考えています。児童育成計画の案がまとまりましたら、「広報さやま」に掲載いたしますのでご協力をお願いいたします。

また、子どもの年齢が上がるに従って就労されている母親の数は増える傾向にあります。なお、現在専業主婦でいる人の中でも、「子育てがある程度落ちついたら働きたい」など、就労意向を持つ母親の割合は、増える傾向が予想されます。



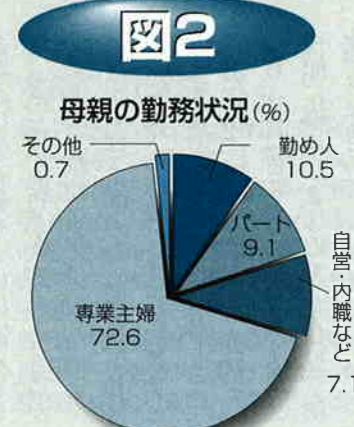
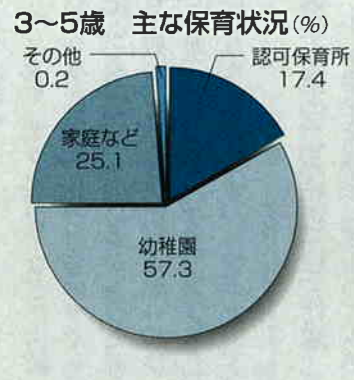
■日中の主な居場所

就学前児童の主な居場所(図1参照)を年齢別にみると、0歳から2歳までは、「家庭など」が最も多く80%以上を占め、認可保育所は、11%でした。3歳から5歳までは、「幼稚園」が



■母の就労状況

図2を見ると「無職・専業主婦」が最も多く7割以上を占め、勤め人(フルタイム)のかたは、1割程度でし



●問い合わせ
児童福祉課保育係へ
内線168

市独自で実施した 土壌中のダイオキシン類濃度 調査結果についてお知らせします

ダイオキシン類問題検討委員会
7月10日、第2回
ダイオキシン類問題検討委員会
にて土壌分析結果を報告

市では、昨年度、市内柗山地域において県が実施したダイオキシン類調査中、土壌において1300pg-TEQ/gが検出されたことから、同地域のダイオキシン類をめぐる環境上の問題への対策の一環として、本年5月22日、狭山市役所、山王中学校、柗山の市内3か所において土壌中のダイオキシン類濃度調査を行いました。その結果についてお知らせします。



測定概要

市内上赤坂付近の環境汚染の実態を調査するため、土壌中のダイオキシン類などの濃度を次のとおり測定しました。

- 採取年月日
5月22日(木)
- 分析対象試料
地表面から植物、小石などを取り除き、深さ約2cmまでの土壌
- 採取地点
狭山市役所、山王中学校校庭、柗山
- 分析項目
ダイオキシン類28項目
- 分析方法
平成7年度非意図的生成化学物質汚染実態追跡調査(環境庁環境保健部環境安全課)で示されている、底質中ダイオキシン類の分析方法に準じた分析試験。

なお、土壌採取当日の気象は、天候晴れ、気温21度から24度。

結果と考察

測定結果は、狭山市役所48pg-TEQ/g、山王中学校19pg-TEQ/g、柗山180pg-TEQ/gでした。この市役所の48pg-TEQ/gは、ここがかつて県の園芸試験場であったことによる残留農薬の影響が推定され、これを考慮すると約40pg-TEQ/gとなり、昨年度、県が実施したダイオキシン類調査の堀兼出張所における値(39pg-TEQ/g)とほぼ一致します。

山王中学校の19pg-TEQ/gについては、生徒がグラウンドで普通に活動しても問題がない値と考えられます。

また、柗山の180pg-TEQ/gについては、昨年度の県が実施したダイオキシン類調査における最大値であった130pg-TEQ/gをさらに上回る高い数値が検出されました。



▲5月22日、柗山などにて土壌を採取

土壌中ダイオキシン類濃度測定結果 (pg-TEQ/g)

	狭山市役所	山王中学校	柗山	東秩父 ^{*1}
ダイオキシン	20.9	6.72	62.10	0.11
ジベンゾフラン	26.9	12.63	119.44	1.25
合計	48	19	180	1.36

*1:バックグラウンド地域としての参考値、「三重地域のダイオキシン類の環境調査結果について」(埼玉県)より引用

言葉の解説
pg(ピコグラム)…1兆分の1グラム
TEQ………毒性等価換算濃度の略。いろいろなダイオキシンを最も毒性の強いダイオキシンに換算して表した濃度

今後の取り組み

これらのことから、以上3地点は、いずれも柗山地域の産業廃棄物焼却施設が汚染源と推定されますので、3市1町の合同パトロールや事業者への指導をさらに強化するとともに、実態をより正確に把握するため大気中のダイオキシン類濃度調査を行っていきます。

さらに、国・県の規制などの動向を注視しながら、ダイオキシン類問題検討委員会の提言などを受け、市としての排出抑制対策を進めていきます。

●問い合わせ
環境管理課へ内線631